

歌声が人の輪を作っていく

～音楽が響く町牛久～

広報うしく市民特派員

杉井 智子

初めて会った人でも、同じメロディーを聞いた瞬間、心が触れ合ったという経験をしたことはありませんか？音楽には、年齢、性別、生活環境を越えて人をつなげるという不思議な力があります。牛久にはさまざまな音楽活動をしている人たちがいます。その中から、刈谷地区の「歌声喫茶」悠々と、中高年のバンドを応援するイベント「中高年の星コンサート」を取材しました。

■地域の中の「うたごえ喫茶」

1950年代に東京から始まった「うたごえ喫茶」。司会者のリードの下、そこにいる人たちが一緒に口ずさむというスタイルは、多くの人の共感を呼び、全国的なブームを巻き起こしました。

刈谷地区に住む寺村さんは、地域のボランティア活動として「うたごえ喫茶」のようなものを作りたいとずっと思っていました。そんな時、牛久のあるカフェで行われていたうたごえ喫茶に参加。ギターと歌でリードする橋本実さんと知り合い、



地域のうたごえサロンに協力してもらえることになりました。刈谷地区の方にも協力してもらって、歌集を作り、2006年12月に第1回目「歌声喫茶」悠々がスタートしました。橋本さんが季節や行事の歌を取り入れながら、ストーリーを考えてリードして下さるので、初めは恥ずかしそうにしていた人も、どんどん大きな声で歌うようになり、帰るころにはいっぱい歌って顔が真っ赤になつていくそうです。参加者が次々と友達を誘って、160人以上の方

が入れ替わり60人前後参加するようになりました。

キーボードやアコーディオン演奏のスタッフも刈谷地区の中で次々と見つかりました。歌は、童謡、唱歌、ロシア民謡、フォークソングなど。知らない歌でも、歌集を見ながらリーダーの歌声に合わせていると自然に覚えてしまいます。

参加した人は「初めて会う人とも自然に友達になれた」「知り合った人とまちで出会ってあいさつができるようになった」と、歌うことだけでなく地域の人と知り合える場としても、楽しみにしているようです。

ほかの地域から見学に来る人が出てきて、今、牛久市内の3つの地域でも「うたごえ喫茶」の準備を進めているそうです。

「人がつながるまちづくり 楽市楽座 歌おう！食べよう！楽しもう！」をテーマに、3月9日(日)に開催される「第2回うしく大好きゆめまちメッセ」でも、「歌声喫茶」悠々のメンバーによる「うたごえサロン」が行われます。人前で歌うのは恥ずかしくても、みんなと一緒に歌うと楽しさ百倍。歌うことから始まる地域とのつながり。歌声の響く町には、人の輪もどんどん広がっていきそうです。

■中高年の星コンサート

仕事に追われてギターが部屋の片隅でほこりをかぶっているけど、「昔はバンドで歌っていたんだ」という中高年の人も多いのではないのでしょうか。そんなお父さんたちに、さらさらした時間を再び持つてもらいたい…と中高年の方のためのコンサートが開かれます。

出演は、ハワイアンバンド「レイ・アロハ」、金管アンサンブル「Ys ブラスアンサンブル」、牛久三中の中学生バンドBKMなど。スペシャルゲストとして、大学時代から30年以上も続いているフォークグループ「絵馬」が出演します。

ひたすらギターの練習をしていたあのころを思い出して、仕事人とは違う自分を再発見してみませんか？

中高年の星コンサート

日時 2月24日(日)午後1時～4時

場所 三日月橋生涯学習センター
第1・第2研修室

入場料 無料

主催 牛久子育てネットワーク 紡ぎの輪

問い合わせ 紡ぎの輪事務局(小野)

☎・FAX874-1045

Eメール mihomama@zf7.so-net.ne.jp